

墨田区議会

Liberal Democratic Party

# 自由民主党だより

2013  
April

ご意見・ご要望をお待ちしております。

発行/墨田区議会自由民主党 (墨田区吾妻橋1-23-20) 発行責任者/田中邦友

http://www.city.sumida.lg.jp/

## 平成25年 第一回定例会が 開催されました。(2月14日~3月28日)

会派の瀧澤良仁委員長・加藤拓副委員長が予算特別委員会を運営し、坂下修、田中邦友、林恒雄、山本亨、佐藤篤の各委員が各会計予算について質疑を行いました。予算の内容や執行について、墨田区の将来像や今後の区政のあり方、区民生活の向上など、墨田区議会自由民主党ならではの提案型の質問を行い、それぞれの質問に対して区長側から前向きな答弁を引き出しました。



▲議事を進行する瀧澤良仁委員長

平成25年度墨田区各会計予算(一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計)を審議する予算特別委員会が、瀧澤良仁委員長のもと、2月27日から3月12日まで開催されました。

### 意見開陳(要旨)

#### 1 区財政について

▼景気回復への期待はあるが、本区の財政運営は厳しい現状である。公共施設白書の早期の提示等、行財政改革の取り組みを全庁・全職員が一丸となって行うことを望む。

#### 2 防災対策について

▼「燃えない、壊れないまちづくり」を強力に推進することを強く望む。

#### 3 国際観光都市について

▼東京スカイツリーの効果が区全域にはまだまだ及んでいない。確実に成果が得られるよう全庁を挙げて取り組むよう求める。

#### 4 すみだ北斎美術館について

▼区民の理解を得るための説明がまだ不十分である。一層の努力を求める。

#### 5 福祉施策について

▼より一層の経費削減と入場者確保のための取り組みを望む。  
▼保育所待機児ゼロを目指してスピードを持って努力されたい。  
▼特養老人ホームの800名を超える待機者解消についても施設誘致に向け全力で取り組まれない。

#### 6 大学誘致について

▼支援を必要とする区民を思い浮かべ、やさしい街すみだの実現に向けての事業展開を強く望む。  
▼区長の決断により、早期に大学名の公表がなされることを期待する。様々な条件の整備や交渉を確実に進め、誘致後の効果についての十分な検討を求める。

#### 7 教育について

▼教育委員会の活性化に真剣に取り組む、機能を十分に発揮できる体制の構築を求める。学力向上、幼小中一貫教育、いじめ対策等について、現場や保護者とのコミュニケーションをより一層図り、区民の期待に応える教育行政の展開を強く望む。



▲意見を開陳する山本 亨議員

### 付帯決議

すみだ北斎美術館の管理運営費の更なる圧縮を図るとともに、収入の増加に全力で取り組むこと。さらには文化振興のみならず、観光やまちづくりにおける効果を最大限に発揮できるように努められたい。とりわけ区民の理解を得るため全庁をあげてなお一層の努力をすること。

### 黙祷をささげる

予算委員会中、東日本大震災(平成23年3月11日2時46分)で被災された方々へ黙とうを捧げました。



# 第一回定例会本会議での質問概要

## 代表質問

平成25年度予算  
編成を中心とし  
て、区長・教育長  
に質問しました。



田中邦友 議員

### 区長・教育長に問う！

#### 平成25年度予算編成について

(問)平成25年度は墨田区基本計画の後期計画の中間年であり、区長にとつても今任期の折り返しの年でもある。

①これまでの問をどのように検証して予算を編成されたのか。

②これまでの行財政改革の取り組みの成果と、具体的な反映は。

③財政健全化を図るための取り組みと基金の積み立てについて。

④増加している繰延事業と基本計画の実効的な推進との関連は。

⑤墨田区実施計画における財政収支の想定値の修正を願う。

(答)①それぞれの政策・施策の達成状況を検証し、着実な進捗が図れるよう努めた。特に後期計画の3つのリーディングプロジェクトに予算を集中的に投入し、実現に取り組む。②5%マイナスイノベーションの依命通達により3億円の圧縮、事務事業の見直し、民間委託の実施において3億4千6百万円の削減となった。国の緊急経済対策の臨時交付金を確保するため、可能な限り対象事業を補正予算に前倒しで計上した。③公共施設の統廃合をはじめとする様々な行財政改革に取り組み、健全財政の確保を図りたい。基金は計2百億円を確保するよう努めたい。④厳しい財政環境や様々な状況変化によりやむを得ず繰り延べるものであり、今後は精力的に事業調整に取り組み、着実に推進していきたい。⑤こうした事情に

より、実施計画と財政収支に乖離が生じているため、速やかに計画を修正し議会に報告したい。

#### 防災対策について

(問)25年度より始まる東京都の「木密不燃化10年プロジェクト」について。

①本区で全国に先駆けて展開している不燃化促進事業との違いは。

②都との負担割合等、財源構成は。

③本区の不燃化・耐震化事業の現状と今後の見通しは。

④このプロジェクトにかける区長の意気込みは。

(答)①首都直下型地震の切迫性や東日本大震災の発生を踏まえ、地域を特定し一層踏み込んだ支援を重点的・集中的に講じ、木密地域の改善を一段と加速するためのものである。従前の事業に加え、様々な手厚い支援策を行うものである。②原則として東京都が2分の1の補助を行うものである。③区の北部の不燃化率が56.5%と目標に比べてまだまだ低い。「防火・耐震化促進助成制度」の事業区域を主要生活道路沿道に拡大し、市街地の防災性能の向上を目指す。住宅の耐震化率はおよそ80%を超えていると予想される。耐震化に関わるすべての事業で実績が増えてきているので、今後も関係団体と共に周知を行い、85%の達成を目指す。④木密地域の解消は区にとって長年の課題であり、このプロジェクトによって実績と成果を出せるよう、強い意志で事業にあたる決意である。

(問)初期消火体制の充実を図り、延焼の被害を最小限にするためにスタンドバイプの導入を予算化したことは高く評価する。全町会・自治会への早期の配置と訓練への協力を要望する。

(答)消防署や消防団と連携して、操作説明会や区民防災訓練等で技術指導を行い、自助・共助による災害対応力の向上につなげていきたい。

#### 産業振興・観光施策について

(問)新たに策定される「産業振興マスタープラン」について。①本区の産業の現状は。②基本的な考え方は。

(答)①企業台帳等によると、製造業では65歳以上の経営者が5割を超え高齢化が進み、後継者がいない割合も約7割に及ぶ。商業環境においても同様の傾向がある。他方、若い後継者や区外から参入した事業者による新たな事業展開が始まっている。②東京スカイツリーという起爆剤を契機に、現状を把握した上で新たな将来予測に基づき、改めてまちづくりという観点も含めて、本区ならではの都心における産業集積のあり方、産業振興のビジョンを示したい。

#### 高齢者対策について

(問)旧木下川小学校跡地に特養ホームを誘致することを表明したが、地域との調整等考え方は。

(答)25年度後半には運営事業者の公募・選定を行い、28年度中には整備が完了するよう取り組んでいく。実現のためには地元との協力が必要であり、地域に情報提供を行うとともに、意向を伺う場を設けていく。

その他、在宅介護サービスの充実への取り組み、高齢者みまもり相談室について問うた。

#### 子育て支援について

(問)25年4月入所がかなわなかった保育園の待機児童は200名程度。①この要因と②今後の対策は。③在宅保育の充実に向けての取り組みは。

(答)①若い世代の転入人口の増加、女性の就業意識の高まりなどにより、保育園入園申込者数が増加した。②25年度で197人、26年度に132人の定員拡大を行う。「保育緊急確保事業」計画を策定し、待機児童ゼロを目指したい。③子育て中や先輩ママのグループによる各種イベントを子育て支援総合センターの補助事業として行い、行政だけでは気づかない、身近な題材の事業を実施し、保護者の不安感や孤立感を解消していきたい。

#### 教育について

教育委員会の活性化、いじめ・不登校、学力向上、幼小中一貫教育など、本区の子供たちの将来に関わる課題への真摯な取り組みを強く求めた。

## 一般質問

錦糸町まちづくり、若手を活用した創造的なまちづくりについて、区長に質問しました。



林 恒雄 議員

### 区長に問う！

#### 1. 錦糸町の場外馬券場設置凍結後の地元状況について

(問)平成11年区議会で陳情の審査がなされ、ただちに場外馬券場の設置は困難であるとの結論が出された。街づくりにあたって、錦糸町南口を考える会からの提案や陳情はあったのか。

(答)南口を考える会は地域での環境浄化を大きな柱として活動している。錦糸町駅南口広場や自転車駐車場整備における施設配置計画や江東橋地域全体の街路灯の設置、国道14号の横断歩道橋のエスカレーター設置等、様々な意見を受け、区としてはこれを反映してきたところだ。

#### 2. ハブステーション錦糸町の活用について

(問)錦糸町駅は本区の重要な交通の結節点であり、墨田区のハブステーションとも言える。錦糸町駅を核として、区全体の観光施策展開を進めていくべきではないか。合わせて錦糸町の風紀改善が求められている。

(答)錦糸町には飲食、物販、映画や音楽など、区内随一の商業・アミューズメントの集積があり、こうした魅力にひかれて、区内外から多くの来街者が訪れている。一方で、特に錦糸町南口については、都内有数の繁華街ゆえの風紀も含めた様々な課題を抱え、ダイナミックなイメージがつかまわっていることも事実である。

#### 3. 若手の起用による創造的なまちづくりについて

(問)本区では、町工場から出る配材(廃材)を使って万華鏡など価値あるものに作り換える「配材プロジェクト」が報道でも取り上げられるなど、人気を博している。若手を積極的に活用しまちづくりを進めることが、本区の創造的な発展につながるかと確信する。

(答)錦糸町周辺では、ストリートジャズ・フェスティバルや周辺飲食店を巡るバル・ウォークが行われ、音楽や飲食といった錦糸町のまちの魅力と一体となったこれらのイベントによって、多くの若い観光客が訪れ、街中を回遊していると聞いている。

錦糸町の活性化を進めていくにあたっては、こうした若手担い手の動きを活用していくことが、重要かつ有効であると考えている。区としても、これらを側面支援しながら、観光まちづくりを進めていきたいと考えている。

したがって、地域と行政が一体となってまちの環境浄化に取り組む必要性を強く認識している。そして、観光振興プランにも謳われているように、錦糸町は、多彩な文化に出会えるターミナルなまちというコンセプトのもとで、スカイツリーから区内を回遊する多くの観光客を受け入れる拠点となるまちづくりが必要であると考えている。

そのためには、商業・アミューズメント機能をエリア全体で面的に連携させ、来街者が快適にまちで楽しめる環境をさらに向上させることや、タワービューを眺めながらまち歩きが楽しめる仕掛けづくりなどを進めることで、交通ターミナル機能を活かしたまちの魅力発信していきたい。

# 一般質問

## 水辺・公道空間を利用した区内商店活性化、生活保護世帯への学習支援、母子家庭支援について区長に質問しました



佐藤 篤 議員

### 区長に問う！

#### 1. 水辺・公道空間を利用した区内商店活性化について

(問) 都市再生特別措置法や河川敷地占用許可準則が改正され、水辺や公道にオープンカフェや露店を開設することが可能になった。これを受けて、新宿区では商店街と協力して、駅前の公道にオープンカフェを設置して、商店街活性化に一役買っている。本区でもスカイツリー周辺の公道や吾妻橋防災船着場等の水辺空間に、商店街と連携したオープンカフェや露店を設置できるように制度を整え、区内商店活性化を図るべきだと考える。

(答) 東京スカイツリー開業にあわせて区内回遊性を高めていくことが喫緊の課題であり、提案の内容についても、その一つとして検討すべきである。同制度の適用については、地域や商業を営んでいる方々及び関係機関と協議し、具体的な提案があった場所も含め、どこでどのような形ならば実現の可能性があるかについて前向きに検討する。

#### 2. 生活保護世帯の児童・生徒に対する学習支援について

(問) 厚生労働省の専門家が、生活保護世帯の子どもが大人になって再び生活保護を受給するといふ、いわゆる「貧困の連鎖」について言及し、生活困窮と低学力の関係が指摘された。そうした子どもたちは自宅で学習習慣が身につけてい

なかつたり、親が子どもの教育に無関心な例も多く、埼玉県や沖縄県では自治体が直接学習支援を行い、高校進学率の向上に取り組んでいる。そこで本区も、大学やNPOと連携し、学習ボランティアの派遣や個別指導の場を設けて高校進学率の向上に取り組むのはどうか。

(答) 生活保護受給世帯に関しては、家庭の問題を抱えているなど環境面での問題があることを感じている。特に昨今は、生活保護受給世帯数の増加傾向が続いているので、この減少に繋げる意味でも受給世帯の子どもたちへの学習支援は必要だと考えている。指摘のあった内容については検討してみたい。その際には、本区と包括連携協定を締結している早稲田大学とも意見交換をしてみたい。

#### 3. 民法改正による離婚時の養育費取決め及び面会交流支援について

(問) 昨民法が改正され、離婚時に養育費と面会交流について取り決めることが義務化された。離婚届の提出時に、これら取決めを行っていない方々に対して取決めを促し、然るべき機関を紹介するなど、子の利益確保のための体制整備を求めたい。

(答) 現在の区の窓口では、離婚届の届出様式を改め、子どもの養育費の分担と面会交流について取決めの有無を問う確認欄を設け、該当する方にはチェックをお願している。また、その際に「まだ決めていない」にチェックされた方には、事前に厚生労働省の委託先である養育費支援センターから取り寄せた養育費確保推進のためのパンフレットを配布し、情報提供を行ってきた。今後とも、関係者に法改正の趣旨をご理解いただくよう努め、福祉部門への誘導も図ってみたい。

母子世帯の生活実態は大変厳しいものがあり、今後もより一層支援に力を入れていきたい。

## 第一回定例会・常任委員会での質疑の様子

本定例会で可決された主な議案や報告についてご紹介いたします。

### トピックス1

#### 墨田区職員に関する3つの条例が可決されました。

#### ★墨田区職員定数条例の一部を改正する条例

これまでの業務の民間委託の推進や、事務事業見直し等により職員の減員が可能となるため、区長等の事務部局の職員を30人削減しました。

#### ★職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例



▲区民文教委員会を運営する西原文隆委員長

社会情勢の変化に伴い、「滞納整理事務特殊手当(月額330円)」及び、「取締業務手当(月額420円)」を廃止することになりました。

#### ★職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

国及び他の地方公共団体との均衡を考慮し、退職手当の基本額を引き下げました。また、在職期間中の職務及び職責に応じた貢献度をより一層反映させるため、退職手当の調整額の算定方法を改めました。

条例改正により区職員がより円滑かつ密な仕事を進められるよう今後ともさらなる職員の資質向上にしっかりと努めていきたいと思います。

### トピックス3

#### 墨田区公衆便所に関する条例の一部が改正され、公衆便所の名称が「便所」から「トイレ」になりました。

これまでもわが会派は、まち歩きトイレの整備に関連し、きれいなトイレの整備に向け様々な質疑をしてまいりました。国際観光都市すみだを目指すにあたり、名称変更は区のイメージアップにつながります。

「トイレ」と名称変更がなされ、今後は名称に見合うよう、よりきれいに、清潔に保てるよう区民や来街者の皆さまのご協力をお願いいたします。

観光客の回遊に欠かせない「おもてなし」の精神を、共有したいと思えます。

### トピックス4

#### 「墨田区産業振興マスタープラン」が策定されました。

今までの成果をもとに策定するのではなく、今後10年後を見据えた具体的なビジョンを描き、これからの産業振興の方向性を示すためのプランです。

ポイントは、墨田区の産業の目指すべき姿は「工房・文化・シェアリング」です。



▲企画総務委員会として質問する福田はるみ委員

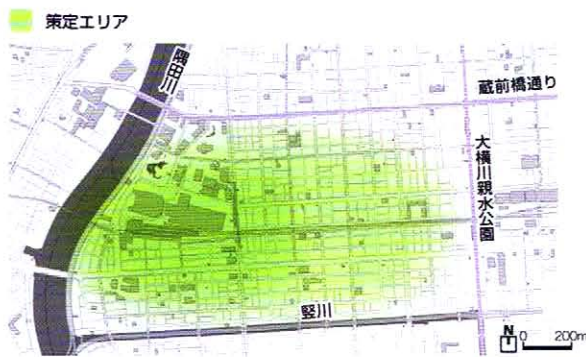
今まで受け継がれてきた墨田区の多様な産業人の価値観を、区内外の事業者や消費者の人々に浸透し、「共有(シェア)」され、さらに「工房」が輩出されている状態を指します。そのためには、今後、需要をつくり、ものをつくり売る、サービスする、アフターケアをする、という産業の多角的側面を「ものづくり」「商業」「観光」等の業種業態を問わず一体的に提供していかなければなりません。

### トピックス5

#### 「両国観光まちづくりグランドデザイン」の中間まとめが発表されました。

両国グランドデザインの策定には800万円の予算計上がされました。策定目的は、東京スカイツリーが開業し、墨田区に多くの注目が集まる中、両国の貴重な観光資源を活かし、両国地域の魅力の底上げを図ることで、押上、業平からの回遊性を促すことです。

本計画のエリアは隅田川、蔵前橋通り、大横川親水公園に囲まれたエリアで、このエリア内には「北斎美術館建設予定地」も含まれております。



今後のスケジュールは、パブリックコメント、住民シンポジウムを経て、7月に策定、事業実施を予定しています。

墨田区の豊かな観光資源の中心「両国」の魅力を引き出し、東京の観光地の一つとして確実に発展していけるよう全庁あげて取り組んでいただきたいとの要請を引き続きしてまいりたいと思えます。



▲区民文教委員会として質問する加藤拓委員

### トピックス2

#### 墨田区児童デイサービス施設の管理運営に関する条例の一部を改正する条例が改正されました。

すみだ福祉保健センターみつばち園を児童福祉法に規定する児童発達支援センターとして位置付けることになり、利用時間の拡大及び給食の提供が可能となりました。

NEWS

3月13日の区民文教委員会と、3月22日の企画総務委員会で大瀬康介議員の区要綱違反行為の疑いについて議論がなされました。  
委員会で明らかになった事実は、次のとおりです。

- 1.大瀬議員が代表を務める東京大空襲真実赤い吹雪制作実行委員会は、3月9日、曳舟文化センターで行われた朗読劇東京大空襲真実の記録「赤い吹雪」を主催した。
- 2.同実行委員会は、同劇を紹介するパンフレットの中に、大瀬議員の政治的主張を記した「墨田オンブズマン新聞」を挟み込んで同会場において配付した(以下「本件」という)。これについて区は少なくとも6名にその事実を確認している。

- 3.同劇は、区及び区教育委員会の後援を受けており、政治的色彩を帯びることが禁止されている(墨田区後援等名義使用承認事務取扱要綱5条2項イ及び墨田区教育委員会後援等名義使用承認事務取扱要綱4条2(イ))。
- 4.本件は、上記要綱に反する「脱法的行為(区総務部長答弁)のため、区としては後援名義の取消を検討する。
- 5.同実行委員会は、区及び区教委の後援を受けて開催されたため、会場代金の減免を受けている。この返還請求については今後区で検討する。
- 6.大瀬議員は、本件について、公式の場で弁明・謝罪をしていない。  
この件については議会の問題として、あらためて議長の下で議論を行なうことになっています。

# 行動します！ We Take ACTION!!

## すみだ自民党 議員紹介

墨田区議会自由民主党の所属議員です。  
新しい時代のすみだづくりに全力投球します。

<p>●区民文教委員会委員長 ●新タワ！観光対策 ●特別委員会委員</p>  <p>西原 文隆</p> <p>墨田5・33・4 3611・4003</p> <p>押上1・25・5 3622・9570</p>	<p>●企画総務委員会委員 ●都市開発・災害対策 ●特別委員会委員</p>  <p>瀧澤 良仁</p> <p>八広4・11・19 3616・5834</p>	
<p>●企画総務委員会委員 ●新タワ！観光対策 ●特別委員会委員 ●議会運営委員会委員長</p>  <p>田中 邦友</p> <p>江東橋1・8・7 3631・1934</p> <p>八広1・39・17 3616・7014</p>	<p>●墨田区議会議長 ●区民文教委員会委員 ●行財政改革等 ●特別委員会委員</p>  <p>出羽 邦夫</p> <p>京島1・39・1・918 3616・1050</p>	<p>●新タワ！観光対策 ●特別委員会委員長 ●産業都市委員会委員</p>  <p>坂下 修</p> <p>業平4・5・16 3625・8139</p>
<p>●産業都市委員会委員長 ●都市開発・災害対策 ●特別委員会委員 ●議会運営委員会委員</p>  <p>樋口 敏郎</p> <p>業平4・5・16 3625・8139</p> <p>八広3・6・3 3617・4129</p>	<p>●福祉保健委員会委員 ●行財政改革等 ●特別委員会委員</p>  <p>林 恒雄</p> <p>京島3・18・4 090・8567・8293</p>	<p>●企画総務委員会委員長 ●新タワ！観光対策 ●特別委員会委員</p>  <p>沖山 仁</p> <p>緑1・12・13・301 050・1334・9640</p>
<p>●産業都市委員会委員 ●都市開発・災害対策 ●特別委員会委員 ●議会運営委員会委員</p>  <p>中沢 えみり</p> <p>京島3・18・4 090・8567・8293</p> <p>堤通1・5・9 080・5008・9930</p>	<p>●企画総務委員会委員 ●新タワ！観光対策 ●特別委員会委員</p>  <p>福田 はるみ</p> <p>京島3・18・4 090・8567・8293</p>	<p>●福祉保健委員会副委員長 ●行財政改革等 ●特別委員会委員 ●議会運営委員会委員</p>  <p>山本 亨</p>
<p>●区民文教委員会委員 ●都市開発・災害対策 ●特別委員会委員</p>  <p>加藤 拓</p>	<p>●福祉保健委員会委員 ●行財政改革等 ●特別委員会委員</p>  <p>佐藤 篤</p>	<p>●区民文教委員会委員 ●都市開発・災害対策 ●特別委員会委員</p>  <p>加藤 拓</p>

墨田区議会自由民主党  
<http://jimin-sumida.jp/>  
お気軽にご意見を  
お寄せください。